

平成26年度

事業報告書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会

目 次

平成26年度事業報告	1
I 事業の概要	2～8
1. 入園者数	2
2. 公益目的事業	2～7
3. 収益事業	7～8
II 機関運営等	8～10
1. 組織体制	7
2. 評議員会・理事会の開催状況	9～10
事業報告の附属明細書	10

平成26年度事業報告

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

「公益財団法人」2年目となった本年度は、公園の効率的な管理運営と健全な利用促進をはかりながら利用者の様々なニーズに応えるとともに、行政や各種団体、地元住民等とも連携して当法人の理想である魅力的な「にぎわいのある公園」づくりを目指して安定した経営確保に努めながら公益目的事業を積極的に推進しました。

地域との連携事業では、昨年引き続き行政、地元関係団体と協働して「2014 京都丹波ロードレース大会」「口丹波ふるさと特産展うまいもの市」「あっぱれたんぼ」「第4回京丹波食の祭典」等をはじめ数多くのイベントを開催しました。また、新たな連携イベントとして「京丹波バルーントライアル」を後援し、ご来園の方々に楽しんでいただくことができました。イベント開催時には、平成25年に発足した南丹船井レクリエーション協会と連携してゲームやクラフトコーナーを盛り上げました。また、園内の大木を利用したツリーライミング教室は、子どもたちにチャレンジする機会や木に親しむ機会を提供でき好評でした。

恒例となったタケノコ堀りやカブトムシの幼虫観察等では地元の幼稚園児や保育所の幼児に自然に親しむ機会を提供しました。

スポーツ事業では、レディーススポーツデー、テニス教室をはじめとした各種教室で府民がスポーツに親しむきっかけをつくり、グラウンド・ゴルフ大会、テニス大会などを開催してスポーツの普及・振興や地域交流を図りました。テニス教室では、平成26年4月に供用開始したナイター設備を活用して新たな利用者確保に努めました。昨年開始した障がい者スポーツ交流大会は、今年度も亀岡以北福知山までの障がい者団体等に呼びかけ多くの参加をいただきました。5回目を迎えたクロスカントリー大会は、スポーツ少年団等の冬季のトレーニングとして定着化してまいりました。

文化事業では、天文教室やキノコ教室、摘み菜教室のように丹波自然運動公園や近隣の自然を活かした教室や親子、高齢者が一緒に学ぶ手作り教室を開催して毎日の暮らしを楽しんだり、地域の交流、活性化を図ることができました。

施設の管理運営では、利用者に安心安全にご利用いただくことをモットーに職員一人ひとりが危機感を持って事故防止に努めました。また、京都府が推進する節電対策として「クールスポット事業」の推進にも大きな役割を果たすことができましたが、台風被害によりプール事業は予定どおり進めることができませんでした。

丹波自然運動公園は、災害時の防災拠点として指定されていることから有事の際には当法人も全面的に協力できる体制を備えます。

今後も、「にぎわいのある公園」を目指して、府民のニーズを取り入れながら地

域交流の場及び府民の憩いの場として、公益目的事業を推進するとともに、安心・安全で快適な空間を提供し、豊かな「スポーツライフ」及び自然文化と親しむライフスタイルの確立に努めてまいります。

I 事業の概要

京都府との指定管理基本協定（平成24年4月1日）に基づき京都府立丹波自然運動公園における各施設の管理運営、スポーツ振興事業、自然文化推進事業及び自然文化・スポーツ振興支援事業、地域振興事業などの公益目的事業及び収益事業を行った。

本年度の主な事業概要は、次のとおりである。

1. 入園者数

総	入	園	者	数	535,229人	
	運	動	施	設	364,510人	
	フ	リ	ー	ゾ	ーン	170,719人

入場者総数は、プール時の台風被害や春、秋のイベント時に天候が不良であったことが大きく影響して昨年比に比べ4.4%の減少となった。

2. 公益目的事業

(1) スポーツ振興事業

施設の有効活用をはかりながら、府民の健康づくりや豊かなスポーツライフの実現を目的に多種多様なプログラムを設定し、誰もが気軽に参加できるスポーツの場として地域のスポーツ振興を促す事業

1) スポーツ教室

基本技術の習得と仲間との交流を広げるきっかけづくりの場を提供するとともに保育ルームを設置し子育て世代の女性が参加しやすい環境作りを企画したが、今年度、保育ルームの利用者は無かった。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事	業	名	回数	人数								
レ	ディ	ース	ス	ポ	ー	ツ	デ	ー	40	645人		
テ	ニ	ス	教	室	24	465人						
太	極	拳	教	室	23	252人						
ツ	リ	ー	ク	ラ	イ	ミ	ン	グ	教	室	3	99人
合	計					1,461人						

予定していた京都サンガFCサッカー教室は、台風のため中止した。

2) スポーツ振興・レクリエーションの普及

世代を問わずスポーツを楽しむ機会をつくるとともに、利用者の親睦を深め、地域交流の活性化を図り、活力ある体力づくりの増進に寄与した。

地域交流、スポーツの普及・振興を目的

事業名	回数	人数
テニス大会	3	272人
グラウンド・ゴルフ大会	5	1,708人
ゲートボール大会	2	188人
ソフトバレーボール大会	1	54人
クロスカントリー大会	1	164人
障害者スポーツ交流会	1	180人
エンジョイテニス	42	604人
スポーツを楽しむ日	22	82人
グラウンド・ゴルフのつどい	26	912人
障害者スポーツのつどい	11	194人
合計		4,358人

(2) 自然文化推進事業

公園の持っている豊かな自然的条件を最大限生かして、心豊かで質の高い生活を送り、毎日の暮らしを楽しみ、文化と親しむライフスタイルの確立に貢献した。

心身の健全な発達、豊かな人間性を涵養することを目的

1) 文化教室

事業名	回数	人数	備考
摘み菜教室	2	22人	野草の採取と料理
キノコ教室	1	10人	キノコの見分け方
手作り教室	3	36人	陶芸、天体望遠鏡、しめ縄
ガーデニング教室	2	29人	寄せ植え
天文教室	5	69人	月、星座観望
天体観測		1,314人	
合計		1,480人	

2) 自然体験

近隣地域と協働し農業体験等を通して、地産地消、子どもたちの食育、人々とのつながりなどを考える機会を提供した。

心身の健全な育成を目的

事業名	回数	人数	備考
あっぱれたんぼ	1	87人	田植え
	1	91人	稲刈り、収穫体験
職場体験	1	5人	近隣中学校生涯学習
	2	255人	地元小学校総合学習
合計		438人	

予定していた親と子の山村体験は、諸事情により中止

3) 作品展示

近隣の愛好家の作品を展示するとともに栽培方法等の情報交換の場としての役割も果たした。近隣をはじめ広く来園者に楽しんでいただくことで地域の活性化にも繋がった。

地域社会の健全な発展を目的

さつき・山野草展	日時	平成26年6月6日(金)～8日(日)
	入場者	159人
	内容	丹波地域のサツキ・山野草の愛好家の作品展示と情報交換
菊花展	日時	平成26年10月22日(水)～11月3日(月)
	内容	丹波地域の菊の愛好家及び公園の作品展示と情報交換
公園イルミネーション	日時	平成26年12月22日(月) ～平成27年1月15日(木)
	内容	正門横でイルミネーション装飾を行い冬の観光スポットとして地域振興の場を提供

4) イベント

スポーツだけでなく公園の四季折々の美しさ、楽しみ方を知っていただくためにイベントを開催し、より多くの人々に来園いただきことを目的に実施した。実施に当たっては、様々な活動団体と連携・協働して、地域の公園としての位置づけを確立し、地域振興・地域の活性化に積極的に参画した。

地域社会の健全な発展を目的とする事業

さくらまつり	日時	平成26年4月6日(日) 4月12日(土)～13日(日)
	入場者	5,200人
	内容	桜の開花に合わせて地元商工会等と協働実施 南丹警察署と連携した「南丹・船井交通安全フ

		<p>エスタ2014」</p> <p>南丹船井レクリエーション協会と連携した遊びのコーナー</p> <p>ステージイベント、手作り品の市</p> <p>地域交流、心身の健全な育成を目的</p>
森のバザール	日 時	<p>平成26年5月3日(土・祝)</p> <p>平成26年9月28日(日)</p>
	入場者	3,600人
	内 容	<p>手作り品の市、野外ライブ</p> <p>地域の活性化、地域社会の健全な発展を目的</p>
丹波ちびっこまつり	日 時	平成26年5月5日(月・祝)
	入場者	7,500人
	内 容	<p>金魚つかみ、遊びのコーナー、スポーツコーナー、乗馬体験、ツリークライミング、ステージイベント等</p> <p>南丹船井レクリエーション協会、府立高校、フライングディスク協会等と連携</p> <p>地域交流、児童の健全な心身の育成を目的</p>
あっぱれたんぼ	日 時	平成26年5月25日(日)～10月5日(日)
	入場者	10,653人
	内 容	<p>近隣地域と協働し、田んぼにアートする</p> <p>田植え、成育期間中の観望、稲刈り、黒豆収穫体験、案山子展示</p> <p>地産地消、食育教育の実践</p> <p>心身の健全な育成、地域社会の健全な発展を目的</p>
京丹波・食の祭典	日 時	平成26年10月26日(日)
	入場者	9,200人
	内 容	<p>京丹波町の食材PR、地元産品を使用した料理・加工品の即売</p> <p>地域住民の交流、地域社会の健全な発展を目的</p>
丹波公園まつり	日 時	平成26年11月3日(月・祝)
	入場者	25,027人

	内 容	京都丹波ロードレース、京都丹波ふるさと特産 展うまいもの市、ツリークライミング教室 南丹船井レクリエーション協会、府立高校等と 連携した遊びコーナー スポーツ振興、地域社会の健全な発展を目的
京丹波バルーントライアル	日 時	平成26年12月6日(土)～7日(日)
	人 数	350人
	内 容	熱気球のライトアップ、係留体験搭乗 地域交流、児童の健全な心身の育成を目的

5) サポーター事業

公園の環境整備を府民みんなの手で美しくするとともに公園への愛着、また参加者の生き甲斐づくりの場として事業を展開した。

地域の交流、地域社会の健全な発展を目的

(3) 自然文化・スポーツ振興支援事業

1) 運動施設等の公益目的貸与

スポーツ目的での利用者に運動施設の貸与並びに健康で文化的な生活を推進するため文化活動等を行う利用者に公園施設を貸与した。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名	利用人数
陸 上 競 技 場	70,633人
補 助 競 技 場	63,205人
テニス・バレーコート	77,066人
軟 式 野 球 場	30,392人
体 育 館	51,442人
ゲ ー ト ボ ー ル 場	105人
球 技 場	43,997人
運 動 施 設 合 計	336,840人

施設名	利用人数
天 文 館	1,383人

2) 宿泊施設の公益目的貸与

公益目的に合致する公園利用者に対して宿泊施設を貸与した。

スポーツ振興・心身の健全な育成及び地域社会の健全な発展を目的

施設名	利用人数
宿 泊 所	23,637人

3) 施設の管理運営事業

安全・安心な公園を目指し、府民に親しまれる健全で快適な公園環境の維持管理を行うとともに、防災拠点として有事の際にその機能が最大限発揮できるよう行政との連携に努めた。

3. 収益事業

(1) 収1事業

1) 給食業務事業

宿泊施設利用者にバイキング形式で普通食を提供し、利用者のニーズに合わせ特別食の提供も行った。また、一般施設利用者への弁当を中心とした大量の昼食提供を、保健所の指示を得ながら衛生に十分注意して実施した。

今年度は、広域振興局、京都丹波・食と森の交流協議会、地元関係者と連携して北京大学留学生農業体験の受け入れを実施した。また、管理栄養士による年齢層に応じた食育を行い食に関する大切さについて講演を行った。

2) 喫茶、売店等業務事業

売店は、宿泊所のロビー及び中央管理棟無料休憩室に設けたほか、中央管理棟にある喫茶室では地元食材を使ったメニューを提供し、南区域にレストハウス及び売店を開設し（プール開園期間）利用者へのサービスに努めると共に、公園利用者から要望の高いバーベキューも提供し、地場特産品を使用したメニューの提供・販売をした。

大会主催者からの要望で特設売店を多数開設した。また、イベント等の特設売店では地元野菜の周知・販売に努めた。

3) 請負業務事業

本年度は、京都府消防操法大会や京丹波・食の祭典をはじめ園内で行われた大会の会場設営業務を行った。

園内に精通していることを強みに他の業者より、親切丁寧をモットーにサービスを提供しており、利用者には大変喜ばれた。

(2) 収2事業

1) プール管理運営

本年度のプールのオープン期間は7月15日（火）～8月31日（日）

で、造波プールやウォータースライダーを備えたファミリープールの運営を行ったが、台風や天候不順により予定どおりの事業展開ができなかった。

京都府の施策による節電対策（クールスポット事業）により、プール入場料を半額として営業した。また、京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設でもあり子育て世代を応援した。

利用者 21, 582人

2) パターゴルフ場の管理運営

パターのみで遊べる全18ホールの天然芝コースで起伏のある本格的なコースとなっている。

京都府が指定する子育て応援パスポート事業の対象施設であり、子育て世代の家族にも楽しんでいただいた。利用者 3, 852人

3) 施設の貸与

運動施設や公園利用者のために宿泊施設の貸与や各種イベント等開催のため公園の敷地を貸与しているが、これらのうち、当法人の公益目的に合致しないものの貸与。 宿泊施設利用者 117人

また、地元京丹波町の委託を受けて、町民の健康づくりに役立てるため健康器具を設置し貸与。 利用者 2, 236人

II 機関運営等

1. 組織体制

1) 役員等就任状況（平成27年3月31日現在）

評議員

役職名	氏名
評議員	羽生田 勇 雄
	野 間 之 暢
	北 村 優 幸
	辻 謙 一
	伴 田 邦 雄
	朝 子 照 夫

役員

役職名	氏名
理事長	寺 尾 豊 爾
副理事長	畠 中 源 一
常務理事	岡 本 久
理事	岩 崎 孝 雄
	野 口 久 之
	杉 山 英 樹
	四 方 敏 一
監事	太 田 英 生
	塩 見 康 一

2) 事務局 (平成27年3月31日現在)

事務局長 (1)	参事 (1)	総務課 (8) 管理課 (12) 業務課 (6) *非常勤 (9) 含む
----------	--------	---

2. 理事会・評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

1) 第1回評議員会 平成26年6月23日 (月) 午後3時

決議事項

- ① 平成25年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告並びに決算書の承認について
- ② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員及び評議員の選任について

2) 第2回評議員会 平成27年3月18日 (水) 午後3時

決議事項

- ① 平成27年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画書及び収支予算書等について

(2) 理事会

1) 第1回理事会 平成26年5月29日 (木) 午後3時

決議事項

- ① 平成25年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業報告並びに決算書の承認について
- ② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会役員及び評議員候補者の推薦について
- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 職務執行状況の報告について

2) 第2回理事会

決議の省略 平成26年9月10日(火) 各理事執務場所

決議事項

- ① 常務理事の報酬変更の件

3) 第3回理事会

平成27年12月18日(木) 午後3時

決議事項

- ① 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会職員給与規程の一部改正について

② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会の事業拡大について
報告事項

- ① 職務執行状況の報告について

4) 第4回理事会

平成27年3月5日(木) 午後3時

決議事項

- ① 平成27年度公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会事業計画書及び収支予算書等について

- ② 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会常勤役員の報酬について

- ③ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会評議員会の招集について

報告事項

- ① 職務執行状況の報告について

(3) 監事監査

平成26年5月15日(木) 午後1時30分

- ① 平成25年度事業報告及び決算概要説明

- ② 平成25年度決算

事業報告の附属明細書

公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。